

中町中学校だより 丘山通信



多可町立中町中学校
令和6年6月3日（月）発行
<https://www.town.taka.lg.jp/naka-jhs/>
電話 32-0009 文責：校長 神崎

「自律した学び（家庭学習）を・・・」

学校長 神崎進吾



6月に入りました。1年生も中学校生活に随分慣れたことでしょう。GWが明け、授業や部活動が本格化しています。また、野外活動、トライやる・ウィーク、修学旅行等の学校行事もそれに加わります。忙しい中学校生活ですが、中学生の本分はやはり「勉強」です。授業も、本格的な学習に入っています。1年生は、上手に小学生の勉強スタイルから中学生の勉強スタイルに切り替えていく必要があります。2・3年生も、今一度、授業に臨む自分自身の姿勢を見つめ直していきましょう。

中学校の勉強は小学校の勉強と違い、学習内容が徐々に難しくなり、習得しなくてはならない量も格段に増えます。また、授業のスピードも速くなります。一度授業中に学習しただけでは、理解はできても、残念ながらそれが知識となってすぐに定着することは難しいでしょう。ましてや、学んだ知識を活用するところまではなかなかいかないのが当たり前です。例えば、英語の授業で新しい単語を学習して、その英単語の意味をその場ではわかっていても、一度練習したぐらいではなかなか覚えきる（意味が瞬時にわかる、発音したり、スペルを綴れるようになる）ことはできません。ましてや、その単語を英文の中で使いこなせるようになったりはしません。

そこで、必要になってくるのが、「復習（家庭学習）」ということになります。これには、何回も書いて覚えるといった地道な努力が欠かせません。これを無くして、英語の読み書きができるようになることは不可能です。これは、他の教科でも同じです。漢字を覚えたり、社会科や理科の重要語句を覚えたりする際にも必要なことです。数学でも同じです。できたつもりでいる（なんとなくわかっている）ことと、実際にできる（使いこなせる）ことは違います。色んな問題にあたり、トレーニングすることで少しずつできるようになっていきます。この地道な努力が、勉強ができるようになるかならないかの分かれ道だといっても良いでしょう。

「学問に王道なし」とよく言われます。この一番土台である「知識・理解」なくして、次の「応用・活用」のステージには進めないのです。勉強でつまづく人の大半は、この地道な努力を嫌い、逃げてしまいがちです。この地道な努力の手助けをするのが、学校から課される「宿題」や「小テスト」「単元テスト」です。これらは、学習したことを定着させるための有効な手立てです。これを誤魔化したり、サボったりすることは、せっかくの定着のチャンスをみすみす手放していることに他なりません。

また、皆さんの周りには、スマホやゲーム等、手軽に遊ぶことができ、夢中になるアイテムがたくさんあります。その誘惑を断ち切り、自らを律して机に向かう覚悟が必要です。その意味でも「自律（自分を律すること）」が求められるのです。

学校では、各教科の勉強の仕方について、授業を通じてみなさんにお伝えしています。誰もが皆、勉強ができるようになりたいと願っています。そのためには、ほんの少しの覚悟と相当の努力が必要です。そういう意味でも、勉強から逃げないことは、自分自身を高める大きな機会となります。是非とも、勉強を通して「自分を律する力」「しんどいことにも立ち向かえる力」を自分の中に育てていきましょう。

《特集 1》「家庭学習の習慣化」について

「家庭学習の大切さ」はわかっているけど、最初は頑張ってもなかなか続かないのが人間です。「今日はやる気が出ないな」「モチベーションが上がらないから今日は勉強をやめておこう」なんてことよくありませんか？ところが、最新の脳科学の研究によると、自然にやる気が出てくるなんてことは脳科学的にはなく、「やるから、やる気が出る」のだそうです。



東京大学教授の池谷裕二さんの言葉から引用します。

例えば、笑ったとき“楽しいから笑った”と感じますが、実は逆で“笑った顔になったから楽しい”と感じているのです。実験で、笑顔に似た表情を作るだけで楽しい気分になるということもわかっています。脳にある入力（感情や感覚）と出力（行動）では、出力のほうが重要だと言えます。ですから、やる気に関しても同じです。やる気が出たからやるというよりも、やり始めたからやる気が出るのです。面倒だなと思っても、やり始めることが大事。家事だけでなく、仕事も勉強も同じです。やり始めたら次第に気分が乗ってくるはずですよ。「何ごとにも始めた時点で、もう半分終わったようなもの」と言われているのです。

まさに逆転の発想です。笑うから楽しい。やる気も同じ。「やるからやる気が出る」ということなのだそうです。ですから「やる気が出ないから今日はやらない」なんて言っていたら、ずっと何もできません。しかし、「やり始めた時点で半分終わった」とあるように、始めさえすれば、こっちのものです。では、どう始めればいいのか？



それは、「習慣化」することです。寝る前や食事後に歯磨きをする人は多いのではないのでしょうか。その時、「今日はやる気が出ないから歯を磨くのやめておこう」なんてことにはならないはず。時間になったら。お風呂から出たら。朝起きたら。食事が終わったら。など人によって違うと思いますが、体が勝手に動くと思います。さあ、今から歯磨きをするぞ！って張り切って歯磨きをすることはまずないはずです。きっと、習慣になっていて、気づいたら歯磨きをしていたという方が近いのではないのでしょうか。

このように学習も習慣化することで、歯磨きと同じ感覚で勉強を開始することができます。

また、脳は作業を始めてから10分以上してから「やる気スイッチ」が入るようです。このことを「作業興奮」と言うそうです。ドイツの精神医学者クレペリンという人が発見したそうです。その作業興奮状態になるには最低10分かかるとのこと。要は、10分間学習するまでを習慣化、ルーティンワーク化してしまえばよいのです。

このような流れをルーティン化して、毎日行う。何かを習慣化するには3週間必要だと言われています。そして、習慣化実践の際には、正しい方法を押さえることが重要です。ただ漠然と意志を持とうとするだけでは、習慣化はなかなか実現しません。次の4つの習慣化のために正しい方法を押さえて、自然と毎日机に向かう生活を作っていきましょう。



（1）場所と時刻を固定する

脳に勉強を「これは習慣だ」と認識させるためには、脳が習得しやすい反復性を意識することが大切です。そのためには、勉強の際には明確な条件を設定し、それを繰り返すことが重要なポイントになります。おすすめの方法は、場所と時刻を固定することです。いつ、どこで勉強をするのかをあらかじめ決めることで、習慣化しやすいパターンを作ることができます。

「夕食を食べる → 後片付けを手伝う → 1時間勉強をする → お風呂に入る」といったように行動の流れを決めることで、「夕食の後片付けをしたら次は勉強だ」と脳が行動をインプットしやすくなり、習慣化につながります。

(2) 内容や時間は問わず「やる」ことを最優先 ～最初は「ベビーステップ」で～



習慣化は、まずは続けていくことが肝心なので、最初のうちは内容にこだわりすぎないようにしておきましょう。前述の例では勉強を1時間として解説しましたが、習慣化をスタートさせたばかりの時期なら、勉強時間は10分でもよいのです。また、内容も「ベビーステップ」という言葉があるように、学習の最初は「宿題をする」「英単語を覚える」など、実践しやすいものから始めるのがよいでしょう。

(3) 習慣化の妨害になる要素を取り除く

習慣化の邪魔になる要素は、あらかじめ取り除くのが鉄則です。スマホやテレビ、ゲームなどは勉強の際には遠ざけるようにしましょう。スマホの通知が気になるという場合は、勉強のときは通知を切っておくのがおすすめです。



(4) 記録をつける

勉強の記録をつけてモチベーションアップにつなげるのも、習慣化の際にはおすすめです。勉強の達成状況を記録として残せば、「これだけ続けてきている」という達成感が生まれます。また、記録することそのものが習慣の1つに加わることで、勉強はより習慣化されやすくなるでしょう。

生活ノート(3年生はフォーサイトノート)等に記録していくのも良いでしょう。最近では、スマホのアプリを使った習慣化の方法もあります。スケジュール管理アプリを使って勉強の意識づけをしたり、勉強の記録を残したりすれば、管理がスムーズにできるうえに習慣化することに難しさを感じにくくなります。アプリの場合は記録の可視化もしやすく、目標がある場合には今どの程度達成できているのか、何日間続けられているのかなどもすぐに確認することができます。



勉強を習慣化することができれば、意識しなくても自然と毎日勉強することができ、成績アップなどのよい結果につながります。勉強を毎日続けているという事実は自分にとって大きな自信にもなり、勉強を楽しむきっかけにもなるでしょう。意志だけで勉強を習慣化することは意外と難しいのが現実です。まずは勉強をするという行動パターンを作ることを意識して、短時間でもよいので継続することを目指しましょう。「良い習慣は、良い人生をつくる」と言われます。みんなの頑張りを期待しています。

《特集2》「学習評価」と「定期テスト」について

令和3年度から、新学習指導要領(文部科学省が定める各学校で教育課程を編成する際の基準)の改訂により、評価の方法が変わっております。その趣旨に則り、現在、中学校では次のように学習評価や定期テストを実施しています。

(1) 「日々の授業での学び」「単元の学び」を一層重視した学習評価を行います

保護者の皆様が中学生であった頃の学習評価は、「定期テストや実力テスト」を主たる評価材料としており、評価材料に占める「定期テストや実力テスト」の占める割合は大きなものでした。しかし、新学習指導要領では、従来の「定期テストや実力テスト」で測る学力だけでなく、それぞれの生徒が「日々の授業での学び」や「単元ごとの学び」の中で、どのように取り組み、何を身につけたかを重視するようになっていきます。

そのため、学校では、

- ① 日々の授業や単元ごとに「ふり返しシート」や「レポート」「小テスト」や「単元テスト」等を生徒に課しています。したがって、評価材料における「定期テストや実力テスト」の占める

割合が相対的に小さくなっています。

- ②定期テストは、下記のイメージ図のように各教科で単元ごとにテスト等を実施した後、複数の単元での学びがどれだけ定着しているかを再度、みとる形となります。
- ③また、長期休業明けに課題テストを実施したり、年に数回、学力調査や実力テストを実施したりと、さらに広い範囲でこれまで学んだ学習の定着の度合いを測ります。



①～③の流れの中で、スパイラル学習（一同じ教材、内容を使いながら何回も勉強する学習方法）の形で学習を進めます。スパイラル学習を行うことにより、以前の定期テスト前だけの詰め込み学習（いわゆる一夜漬け勉強）からの脱却を図り、確実に単元の学びを定着させることを目標としています。

【評価のイメージ図】

	単元 1	単元 2	単元 3
評 価 材 料 ①	・授業中の活動の様子 ・授業の振り返りシート ・単元の振り返りシート ・小テスト・単元テスト ・レポート・提出物 等	・授業中の活動の様子 ・授業の振り返りシート ・単元の振り返りシート ・小テスト・単元テスト ・レポート・提出物 等	・授業中の活動の様子 ・授業の振り返りシート ・単元の振り返りシート ・小テスト・単元テスト ・レポート・提出物 等
+			
評 価 材 料 ②	単元 1～3 についての定期テスト 課題テスト・実力テスト		

（２）学期ごとの中間、期末考査 → 単元テスト＋年間３回の学期末考査へ

（１）のスパイラル学習の形をとっているため、以前は１・２学期には中間考査と期末考査、３学期には期末考査と、年間５回の定期考査を実施してきましたが、これを単元テスト＋年間３回の学期末考査の形としています。



※学期末に１回、定期テスト（期末考査）を実施します。各教科において、学習した複数の単元の内容がどの程度、身についているかを測ります。

※課題テストや実力テストでは、さらに広い範囲のこれまで学習した内容について、出題し、その定着の度合いを測ります。

※朝の学習では、スタディサプリを活用して小テスト形式の問題演習を行い、復習を行います。

【令和６年度年間テスト予定】 ※●が定期テストです。

テスト名	日程等（予定）
○進級（実力）テスト（２・３年生）	４月１０日（火）
○全国学力・学習状況調査（３年生）	４月１８日（木）
○実力テスト（３年生）	６月５日（水）
●１学期期末考査 ※全９教科	６月２８日（金）、７月１日（月）、２日（火）
○夏休み課題テスト（１・２年生） 実力テスト（３年生）	９月３日（火）

○実力テスト（３年生）	１０月下旬予定
●２学期期末考査 ※全９教科	１１月２５日（月）、２６日（火）、２７日（水）
○総合学力調査（１・２年生）	１２月実施予定
○冬休み課題テスト（１・２年生） 実力テスト（３年生）	１月７日（火）
○実力テスト（１～３年生）	２月中旬実施予定
●学年末考査 ※全９教科	２月２５日（火）、２６日（水）、２７日（木）

（３）定期考査の順位についての考え方（相対評価から絶対評価へ）

現在、中町中学校では、定期テストの順位を、個別の成績結果として返却しています。しかしながら、（１）で述べましたように、定期考査の目的は、複数の単元での学びがどれだけ定着しているかを確かめるためのものです。生徒には順位ではなく、どれだけその単元での学びが定着しているか、弱点はどこかといったところに着目し、できていないところを復習し克服するようになってほしいと考えています。

また、学習指導要領の改訂により、通信簿などの評定の付け方も、保護者の皆様が中学生であった頃の相対評価（学年集団の中の位置づけによる評価）ではなく、絶対評価（それぞれの生徒が、どれだけ学力を身につけているかによる評価）で成績をつけるようになっていきます。したがって、中町中学校という小さな学習集団の中での順位ではなく、「それぞれの単元の学習をどれだけ身につけているか」に重点を置く必要があります。

保護者の皆様とお話をしている中で、時々「学年で○番以内に入って、××高校に行けますか？ だいたいの目安で良いので教えてほしい」といった質問を受けることがありますが、ご存じのとおり、公立高校の入試は中町中学校内だけの生徒で実施されるものではなく、通常、普通科であれば、第３学区（東播磨地区）、専門学科であれば、兵庫県下全域の生徒が対象となります。集団の中での順位は、その母集団のレベルによって大きく変動します。また、学年約７０名という中町中学校の小さな母集団での順位は、あまり意味をなしません。学年での順位が上位であっても、指標にならないのが昨今の現状です。



「順位が出る方が励みになる」「切磋琢磨してよい」という考え方もちろんありますが、目標とするのであれば「得点率を上げる」という方が、より学習指導要領に沿ったものであると考えています。順位ではなく、「どれだけしっかりと学習内容を身につけることができたか」を大切にしよう指導してまいりますので、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

（４）定期テスト３日前から、「ノー部活動デー」とします

しっかりと単元の復習をするために、定期テスト３日前からノー部活動デーとしております。時間を有効に使って、計画的に復習に臨んでほしいと思います。

定期テスト前・・・３日前からノー部活動デー

課題テスト前・・・長期休業日明けに実施されます。試験勉強に
充てる時間が十分にとれることから、ノー部
活動デーは、特に設けていません。

実力テスト前・・・２日前からノー部活動デー



※各テスト最終日の放課後から、部活動を再開します。

※大会前の場合、特例として練習をする場合もあります。

5月の教育活動

<生徒総会>

5月10日(金)、5校時に生徒総会が行われました。数ある生徒会活動の中でも、1年間の活動方針や年間計画を決める大切な会議がこの生徒総会です。生徒会長からは「今回の生徒総会では、各実践部の今年度の活動目標と計画について審議していきます。この1年間、私たちと一緒により良い学校にするために、積極的に意見交換をしましょう」と挨拶がありました。また、今年度のスローガン「桜花爛漫～咲き誇れ！206人の個性～」について「桜のように一人ひとりの個性を咲かせてみんなが楽しく明るくなるような学校にしたい」との説明がありました。総会では、凜とした雰囲気のもと、予算の審議の他、本部や各実践部から活動方針や年間計画について提案を行い、各学級からの質問に一つ一つ答えていく形で進めていきました。生徒会役員のリーダーシップのもと、中町中のよき伝統を引き継ぎ、自分たちの生活を自分たちの手でより良いものにしてほしいと思います。期待しています。



<生徒会、朝のあいさつ運動、スタート！>

5月14日(火)、生徒総会を終え、いよいよ生徒会役員による朝のあいさつ運動がスタートしました。これは、毎週火曜日の朝に、生徒会役員が正門まで登校する生徒に対して、挨拶をしていこうという運動です。町でも進められている「あったかあいさつ運動」ののぼりを手に、役員みんなで元気よく挨拶を行いました。挨拶は互いのコミュニケーションを深める第一歩として大切であることは言うまでもありません。そして、挨拶は相手の存在を認める第一歩であり、人を大切にするという意味でも重要です。また、声を出して挨拶をするという行為によってコミュニケーションが始まり、人間関係が作り上げられていきます。まず、自分を取り巻く家族や近所の人に、そして先生や友達に、元気で爽やかな挨拶を交わすことが最も大切なのではないのでしょうか。誰もが経験したように、互いにあいさつを交わすことで、清々しい気持ちになります。みんなで明るい挨拶の飛び交う、爽やかな中町中を創っていきましょう！



<3年生、修学旅行>

5月19日(日)、修学旅行1日目

①出発式

5月19日(日)、いよいよ今日から待ちに待った3日間の修学旅行がはじまりました。出発式では学校長と実行委員長のIさんのあいさつがあり、みんな笑顔で元気に中町中学校を出発しました。「都市の自然を感じられる旅に」をテーマに「Best smile, Best memories」のスローガンのもと、大いに学び楽しみ、実りのある修学旅行にしたいと思います。

② 新神戸駅から新幹線でいざ東京へ

新神戸駅に到着後、添乗員さんと合流。無事にのぞみ84号に乗車し、東京まで約3時間弱の新幹線の旅を楽しみました。初めて新幹線に乗る生徒も多く、みんな少し興奮気味。車内では、みんな快適な新幹線の旅を楽しまし



た。車窓を楽しむ者、おやつを食べる者、友達とおしゃべりを楽しむ者、みんな思い思いに楽しく過ごしています。東海道沿線の景色は、見どころがたくさんあります。静岡県を通過中、富士山、見えました！ 標高3,776m、日本一の高さを誇る日本一の山です。堂々たる山容は、やはり他の山とは一線を画しています。

③東京駅・東京都内班別自主研修その1

東京駅に着きました。丸の内広場まで、みんな迷子にならないよう必死に前に着いていきました。トラックにホテル行きの大きな荷物を積み込み、いよいよ東京都内班別自主研修、開始です。この日のために、各班、計画を練り上げてきました。電車、地下鉄等の公共交通機関を使って、計画した場所を訪れました。各班には「都市と自然」をテーマに写真を撮影するミッションが課されています。集合場所は、ホテルのあるJR舞浜駅です。

④東京駅・東京都内班別自主研修その2

夕方、各班が最終チェックポイントであるJR舞浜駅に帰ってきました。日曜日ということもあって、どこももの凄い人出でした。様々な国の人で溢れかえっています。人口1400万人を誇る国際都市、東京を五感を通して知ることができたと思います、思いもよらぬハプニングやトラブルが、各班ともあったようですが、適切に対応できたようです。各チェックポイントでのミッションも各班力を合わせてクリアしました。皇居、新宿御苑、代々木公園、明治神宮等、東京には、世界の大都市と比べても広大な自然や公園が整備されています。高層ビルや繁華街のイメージが強いですが、自然環境が計画的に整えられており、過ごしやすい環境であることが、よくわかりました。

5月20日(月)、修学旅行2日目

①東京ディズニーランド到着

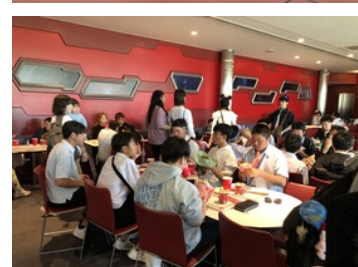
朝から小雨が降っており心配しましたが、入場する頃には雨もすっかり上がりました！ さあいよいよ活動開始です。班ごとに計画したアトラクションに向かってまっしぐらです。みんなで仲良く楽しい時間を過ごします。夢の国でいっぱい楽しみます！

②東京ディズニーランド午前・昼食

平日ですが、だんだん人が増えてきました。修学旅行の生徒も大勢いますが、家族や友達と訪れている人も多いです。外国からのお客さんも目立ちます。人気のアトラクションは、長蛇の列ができており、入館するのも大変です。食事をするのもかなり待たねばならず、一苦勞です。昼食はメールクーポンを使い、班ごとにいただきました。人気のメニューはハンバーガーセット。みんなで食べる食事は、いつにも増して美味しかったです。

③ 東京ディズニーランド午後・夜

午後からは、時折り晴れ間も見え、快適に過ごしています。午後からかなり人が増え、大混雑でした。夜のパレードまで楽しみ、存分にディズニーランドを満喫しました。多くの人で混雑する中でしたが、みんな時間通りに集合し、ホテルに徒歩で向かいました。体調不良者もおらず、みんな元気に到着しました。



5月21日(火)、修学旅行3日目

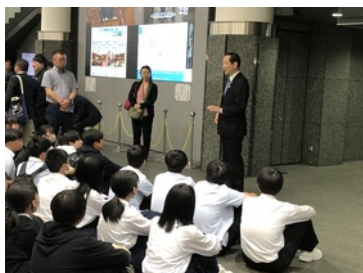
①都内バス観光

朝一番は、バスでの都内観光です。バスガイドさんの案内のもと、東京都内の名所を巡ります。東京タワー、築地市場、豊洲、東京ビックサイト、レインボーブリッジ、霞ヶ関の官庁街等を紹介していただきました。やはり、ガイドさんの案内があるとよくわかりました。



③国会議事堂見学

3日目の一番最初の見学は、日本の政治の中心、国会議事堂です。見学にあたり、衆議院議員の藤井ひさゆき議員からご挨拶と国会の役割についての説明をいただきました。今回、見学したのは衆議院。ここで、日本の進むべき方向について、激論がかわされます。大理石に覆われた歴史を感じる荘厳な建物からも、その重みを感じます。国会議事堂前で記念撮影も行いました。



④ 浅草寺

引き続き、都内のバス観光。霞ヶ関、六本木、築地、日本橋、兜町、東京証券取引所、両国国技館等のお話をさせていただきました。次の見学場所は浅草寺。バスの中で、しっかりと説明を受けての見学です。雷門前は大勢の外国からの旅行者で混み合っていました。浅草寺にお参りしたり、合格祈願をしました。また、おみくじを引いたり、仲見世通りで土産物を買ったりしました。



⑤昼食・東京駅

3日目の昼食は、浅草の天麩羅料理の老舗「葵丸進」で、天麩羅定食をいただきました。その後、しばらくバス観光を楽しんだ後、東京駅に着きました。お世話になったバスガイドさんともお別れし、3日間過ごした東京を出発し、帰校の途に着きました。手荷物もお土産でいっぱい。疲れてはいますが、3日間の思い出をしょりにまとめました。



⑥東京駅～新神戸駅

新幹線車内では、友だちと歓談するもの、寝ているもの。車窓を楽しむもの、思い思いの時間を過ごしました。新神戸駅では、添乗員のTさんとのお別れ式を行いました。「このメンバーでこの時期に行く最初で最後の一回きりの修学旅行。この友達を大切にしてほしい。そして、色々な経験をしたことと思うが、ぜひ、この経験を人生のステップアップに活かしてほしい」とのメッセージをいただきました。



⑦解散式

解散式では、実行副委員長のKさんから、このような楽しい修学旅行になったのは、「メリハリをつける、自分勝手な行動はしない、時間を守る」という3本柱をみんなが意識して行動してきたからだと思う。この経験を今後活かそう、との挨拶がありました。日本の首都であり、政治・経済・文化の中心である東京を体感できる旅、また、友達の新しい一面を発見できる等、実りの多い旅でした。



< 1年生、多可町立3中学校合同野外活動 >

5月23日(木)、多可町立3中学校1年生の合同野外活動を、多可町北播磨余暇村公園で行いました。この学年の生徒は、令和8年には新しく誕生する多可町立多可中学校の3年生になります。これから2年間かけて少しずつお互いをよく知り、仲良くする機会を作っていきます。その第1弾がこの合同野外活動です。

プログラム①自己紹介ゲーム

自己紹介ゲームでは、封筒の中のカードを1枚引いて、引き当てたお題で自己紹介をし、和やかな関係づくりを目指します。それ以外の人も別の封筒から1枚紙を引き、その紙に書かれている国の言葉で返事をします。3中学校のメンバーが混ざった6~7人のグループで、まずは、楽しく自己紹介をしました。

プログラム②フィールドワーク

フィールドワークです。園内に設けられた8つのポイントで、先生方から出題される課題に、班ごとに挑戦しました。内容は、大縄跳び、じゃんけん、お題についての俳句づくり、グラウンドゴルフ、フラフープ抜け、伝言ゲーム、記念撮影、言葉探しローラー滑り台等、バラエティに富んでいます。そのうち4つは、他の学校の班と協力するように工夫されています。各班とも、少しでも多くのポイントをクリアしようと、園内を駆け巡り、仲間と協力して次々と課題をクリアしていききました。

昼食・校歌紹介・記念撮影

みんな園内を歩き回ってお腹もすいたところで、昼食です。班ごとにおしゃべりを楽しみながら美味しくいただきました。昼食後は、学校ごとに校歌の披露です。この日のために練習してただけに、どの学校の元気よく大きな声で歌うことができました。最後は、みんなで記念撮影です。約160人の仲間が1枚の写真におさまりました。

多可町内の3中学校の他の友達に、声をかけたり、かけられたりと、お互いを知るきっかけとなる楽しい時間をともに過ごしました。これからも楽しみです。

< 1年生わくわくオーケストラ&日清カップヌードルミュージアム① >

5月31日(金)、1年生が校外学習で「わくわくオーケストラ」に出かけました。生のオーケストラの演奏を聴くのは初めての生徒がほとんどです。この日のために音楽の授業でも、オーケストラの鑑賞の仕方やそのマナーについて学んできました。最初は、ヘンデルの水上の音楽より「アラ・ホーンパイプ」。その迫力と美しい旋律にあっという間に引き込まれました。次に楽器紹介。弦楽器5種類、木管楽器5種類、金管楽器4種類、実に14種もの楽器を一つ一つ馴染みのある楽曲を演奏しながらその特徴を紹介されました。そして、演奏再開。曲は、ニコライ・リムスキー・コルサコフの「スペイン奇想曲」、次いでスメタナの「ヴァルダナ(モルダウ)」。その場面の情景映像とアナウンスとあわせて演奏を楽しみました。約70名近いオーケストラによる大迫力の演奏を、まさに体全体で聴きました。そして、ラディツキー行進曲を、指揮にあわせて手拍子で一緒に演奏した後、最後は会場全体で「ふるさと(嵐)」の大合唱です。会場全体がオーケス



トラと一体となって楽しみました。大いに本格的なオーケストラを楽しんだ半日となりました。

<1年生わくわくオーケストラ&日清カップヌードルミュージアム②>

わくわくオーケストラを楽しんだ後、昼食は、伊丹スカイパーク。あいにく小雨が降っていたためバス内で昼食をとり、雨が上がるのを待って展望台へ。はっきりなしに運航するジャンボジェット機の離発着を楽しみました。その後、午後の目的地である大阪府池田市にある日清カップヌードルミュージアムへ。オリジナルのカップヌードルを作りました。まずは、カップに特殊なペンでイラストや文字を入れてデザインします。その後、装置をカップを回転させながら麺を投入。粉末スープを4種類の中から1つ選び、さらにたくさんの具材の中から4つの具材をトッピングします。そして、最後は、特殊なビニールでカップをパッキングします。みんな思い思いにイラストを描き、スープと具材を選んで、たった一つのオリジナルカップヌードルの誕生です。さて、一体どんなカップヌードルになったのか、ぜひ、お家の方にも見せてあげてくださいね。



<教育実習生、頑張っています！>

5月の最終週、5月中旬からから教育実習生として学校現場の最前線で経験を積んでいる3名の研究授業がありました。これまでの実習の成果を示すこの研究授業。3人とも気合十分で授業に臨みました。数学ではTさんが「連立方程式の導入」、体育ではTさんが「バレーボールの試合で空きスペースを攻める」、社会科ではNさんが「なぜ、第3次産業の人口が増えているのか」をテーマに、それぞれ行いました。3人とも大きな張りのある声で、テンポよく授業を進めました。どの授業も、良い授業を作ろう、生徒たちが少しでもわかるように、できるようにと工夫されたところが随所に見られました。生徒たちもそれに応えるかのように一生懸命に取り組み、前向きな雰囲気が全面に出た授業となりました。多くの先生方に囲まれての授業で緊張したことと思います。指導や助言を活かして、さらにステップアップしてくれることを期待しています。いつの日か、多可町の教員として、同じ職場で働く日を楽しみにしています。



学校からのお知らせ

<オープンスクールのお知らせ>

6月10日(月)、11日(火)にオープンスクールを実施いたします。当日は、1校時～6校時まで、1日中学校公開をしておりますので、ご都合の良い時間帯にお越しいただき、普段の学校生活や学習活動の様子をご覧くださいますようお願い申し上げます。また、日が近づきましたら、あらためて、当日の時間割をお子さまを通じてお渡しいたします。ご多用の時期かと存じますが、どうぞ宜しくお願いいたします。

<多可郡総合体育大会・北播吹奏楽祭>

部活動では、6月22日(土)に多可郡総合体育大会が(予備日23日、24日。陸上競技部は6月15日(土))開催されます。また、文化部は、6月15日(土)、吹奏楽部が北播吹奏楽祭に出演します。部員たちも、これまで練習で培った力を発揮し、精一杯頑張りますので、ぜひ、応援をよろしくお願い申し上げます。また、詳細につきましては、後日、お知らせいたします。

「丘山通信 5 月号 返信欄」から

たくさんのご意見やご感想をいただき、ありがとうございます。皆様のご意見やご感想の交流の場とし、今後の指導にも活かしていきたいと思いますので、是非、ご返信お願いいたします。

【1 年 1 組】

- ・中学入っての初めての遠足が雨で中止になり、残念に思っていたのですが、生徒会のみなさんのおかげで楽しく過ごせたようです。ありがとうございました。
- ・体験入部を終え、部活動も始まり忙しくなりますが、頑張っって両立して行ってほしいです。
- ・部活動に不安を感じていたみたいですが、先輩も優しくて別の小学校だった子とも仲良くなれて毎日楽しそうに学校に行ってるので安心しました。
- ・部活が楽しみだとはりきって学校に行っています。
- ・毎日、よく頑張っています。友達とも仲良く過ごせているようですし、部活も楽しんでいます。
- ・入学して 1 か月。制服を着ることに、戸惑っていた 1 か月前。今では、制服を着ることに、すっかり慣れた様子です。新しいお友だちの名前も聞くことが増えて、親として、嬉しく思います。いよいよ部活動も本格的に始まりますね。3 年間頑張っってほしいです。
- ・本格的に部活も始まり、楽しんで活動しております。私が、一番選ばないと思っていた部活でしたが、体験してみて、とても楽しかった様で入部しました。新たな発見があり、ビックリしています。しんどい事もたくさんあると思いますが、楽しみながら頑張っって欲しいです。
- ・毎日、早く学校に行ってくれています。これから部活も始まり大変でしょうが、先生方、宜しくお願いいたします。
- ・体験入部での事や、全校レクリエーションの話などを聞いていると、中学校が楽しいのだな、と伝わってきました。いよいよ部活も始まり、だんだん中学生らしくなってきました。これから思いっきり頑張っってほしいです。
- ・あっという間に 1 ケ月が過ぎました。少しずつ中学校生活に慣れていっている所だと思いますが、小学校の時と違い勉強が難しくなっって大変ですが、しっかりと成長していき、楽しく毎日を過ごしてくれればと思います。よろしくお願いします。

【1 年 2 組】

- ・参観日、真剣に授業を聞いている子とそうでない子の差が、すでにでていました。うちの子は班の子と私語をしていて、帰宅後話し合いました。しっかり授業を聞いてほしいです。
(学校より)ご指導ありがとうございます。学校でも引き続き、指導して参ります。
- ・入学して 1 ケ月、自転車通学にも慣れました。授業は小学校との違いに戸惑いを感じながら、テスト勉強はどのようにすれば良いのかいまいちわからないようです。部活楽しんでほしいです。
- ・土曜日に部活の為に学校に行っている姿を見ると、中学生っぽいなぁと実感しました。
- ・入学してから少しずつ慣れてきているようで安心しました。小学の頃とは違い朝の準備も前もって準備しスムーズに自分でしている姿を見て「しっかりしてきたなぁ」と実感しました。
- ・部活が始まりました。さんざん悩んで決めたようです。5 月から練習が始まり、勉強とともにがんばっってほしいものです。
- ・入学式から 1 ケ月が過ぎましたが、新しい友達も増え、充実した日々を過ごせているようです。初めて体験する事も沢山あると思いますが、楽しんで色んな事に挑戦してほしいと思います。
- ・入学して 1 カ月が経ち、学校生活にも慣れてきたように思います。新しい友達もでき、毎日楽しそうにしているので安心していきます。月の予定でお弁当が必要な時は記載してもらえると助かります。年間予定も配布してもらえると助かります。
(学校より)ご連絡、ありがとうございます。対応させていただきました。HP にもアップしています。
- ・学校生活にも少しなれてきたようで、1 月の振り返りを意識できるようになりました。部活動も楽しく参加できているようです。GWに充電完了できたようで、朝も早く起きて、笑顔で登校しました。

【2年1組】

- ・いよいよ事業所も決まりましたね。約1ヶ月ありますが本人よりも親の方がちゃんとできるか不安になってしまいそうです。
- ・トライやるウィークとても楽しみにしています。職業体験、社会勉強を通して色んな事を学び、将来に役立てて欲しいと思います。
- ・遠足は残念ながら中止でしたが、その代わりにレクリエーションを楽しめて良かったです。
- ・楽しみにしていた遠足は雨で残念でしたが、レクリエーションをして頂き楽しかった様です。六月はトライやるウィークがあります。迷惑を掛けないう一生懸命取り組み実りある一週間にしたいと思います。お世話になりますが、どうぞ宜しくお願いします。
- ・トライやるウィークの希望調査が始まり、わが子は希望通りの所へ行く事ができました。兄のトライやるウィーク場所と同じで、兄のアドバイスから決めたようです。しっかり就業体験して学んできてほしいと思います。

【2年2組】

- ・遠足は中止になり残念でしたが、たかテレビでレクリエーションの様子が見え楽しそうで良かったです。
- ・部活動で1年生が入部され、2年生として後輩の見本となるような行動をとってほしいと思います。
- ・1年生の1年間もあっという間に過ぎました。この一年、1日1日を大切にしたいと思います。
- ・2年生になって、生活に慣れた面と、後輩が入ってきたことで、しっかりしていかなければいけない場面が増えてくると思います。まだまだしっかりしたには程遠いかもしれませんが、少しでも変わって成長してくれればと思います。
- ・2年生になりクラス替え、新しい先生、友達との出会いになりました。仲のいい友達とまた同じクラスになったこと、担任の先生の話など今年もたくさん話してくれています。2年生も楽しく過ごせることを願っています。
- ・2年生の勉強に部活に頑張ってもらいたいです。きっと2年生もあっという間に過ぎていくと思うので、一日一日を大切に充実した日々を送ってほしいと思います。先生方にはお世話になります。よろしくお願いします。
- ・早速、トライやるウィークがあったり、郡総体、期末考査とイベントが続きます。体調に気を付けながら、日々を大切に過ごしてほしいです。
- ・丘山通信を読んで、4月の学校の様子がよく分かりました。ありがとうございます。親子の会話のきっかけになります。聞いてもあまり話してくれませんが。
- ・体調を崩さずに過ごしてほしいと思います。また、トライやるで地域の方にもお世話になれることに大変有難く思います。よろしくお願いいたします。

【3年1組】

- ・丘山通信が読みやすいです。ありがとうございます。
- ・見ました。『読書ウィーク』とても良い取り組みだと思います。日々の生活の中で本を読む為の時間を作るのはむずかしいので、ぜひこれからも継続した取り組みにしていきたいと思います。

【3年2組】

- ・見ました。3日間の修学旅行を楽しみにしています。班行動でクラスメートと協力しながら、全員無事に帰ってきてくれるように、願っています。
- ・もうすぐ楽しみにしている修学旅行です。ルールを守り、楽しく、思い出をたくさん作ってきてほしいものです。色々考えているとあっという間に一年が過ぎそうです。部活動に受験と悩む事が多くなりますが、自分らしく前に進んでほしいです。
- ・修学旅行をととても楽しみにしていて、計画を友達と立てるのもたまらなく嬉しいようです。今しか体験できない青春（この今）をおもいきり楽しんでその思い出が人生の財産になりますように！！